

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3405 初等教育方法(情報通信技術の活用含む) [1]			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜3限				
教室	D110教室				
代表教員	大西 公恵				
担当教員	大西 公恵、稲葉 浩一				
テーマと到達目標	子どもの発達段階を踏まえながら、初等教育および幼児教育の方法と学習評価について理解し、指導技術を身につける。教育現場におけるICT（情報通信技術）の活用についての基礎的な知識を身につけ、ICTを活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を目指した教材の作成・活用に関する能力を身につける。				
概要	教育が組織的に行われるにつれて、教育方法の考え方や開発がなされてきたことを理解し、今日では指導についての内容や方法、評価のシステムが確立されていることを把握する。 教育現場におけるICT（情報通信技術）の活用について、その歴史的経緯、現状、今後の方向性を理解する。授業における児童生徒および教員によるICT活用、授業の準備や学習評価に関する活用、教育データの活用を取り上げる。また、情報活用能力の構成要素および具体的な指導法、教育課程上の位置づけについて解説する。 授業方法は、資料による基礎的理論の修得と学習指導案の作成および情報機器の操作など、実践的な活動を取り入れる。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション			大西・稲葉	対面授業
第2回	人にものを伝える方法			大西	対面授業
第3回	教育方法の思想①コメニウス・ルソー・ペスタロッチ			大西	対面授業
第4回	教育方法の思想②デューイ			大西	対面授業
第5回	子どもの発達と学び			大西	対面授業
第6回	子どもとメディア			稲葉	対面授業
第7回	情報リテラシー教育の概要と実践①			稲葉	対面授業
第8回	情報リテラシー教育の概要と実践②			稲葉	対面授業
第9回	子どもはどのように学ぶのか：学習理論			大西	対面授業
第10回	遊びを通した子どもの学び			大西	対面授業
第11回	手仕事による子どもの学び			大西	対面授業
第12回	自然活動を通した子どもの学び			大西	対面授業
第13回	造形活動を通した子どもの学び			大西	対面授業
第14回	探究活動を通した子どもの学び			大西	対面授業
第15回	まとめ			大西・稲葉	対面授業
成績評価の基準	各授業での課題・指導案および模擬授業・学期末のレポート課題による総合的判断とする。				
履修にあたっての留意事項	授業の順序が一部変更となる可能性がある。詳しい予定については、初回授業で説明する。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

## ◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし		
教科書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』	教科書(ISBN)	
参考文献	授業中に適宜指示する。	参考文献(ISBN)	

## ◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください <a href="https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html">https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html</a> 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること		
--------------------	--	--	--